

家畜衛生だより



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

夏季休暇における防疫対策の徹底について

新型コロナウイルス感染症の影響で抑制されていた人・モノの移動が回復しつつあり、訪日外客数の増加や、夏季休暇を迎え日本人観光客も多く渡航することが想定されます。昨年はシンガポールで初めてアフリカ豚熱の発生があったことに加え、ワクチン接種国である韓国で4年ぶりとなる口蹄疫の発生が確認されるなど、アジア・ヨーロッパ各地で家畜の伝染病の発生がつついており、日本への侵入のリスクは依然として高い状況です。

家畜伝染病の病原体侵入防止のため、防疫対策の徹底をお願いします。

1 畜産関係者等の海外渡航の自粛

◎口蹄疫の発生地域への不要不急の渡航を自粛

2 消毒及び衛生管理区域への病原体の持込みの防止の再徹底

◎必要のない者を衛生管理区域(特に畜舎)に立ち入らせない、
不要な物を持ち込まない

◎衛生管理区域専用の手袋・長靴の着用、手指や物品の消毒

◎適切な濃度の消毒薬を使用する、踏込消毒槽の1日1回の交換

◎更衣・消毒後の衣服・機材が再汚染しないような動線を徹底

◎防護柵・防鳥ネットの設置、破損の点検と修繕

3 毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底



台風・大雨被害に備えましょう

- ・発電機や排水ポンプ等の準備
- ・飼料や燃料の在庫は、1週間分以上の量を保有しておく
- ・飲用水の貯留タンク設置など
- ・被災時の対応、緊急連絡先を確認しておく



お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090



口蹄疫の症状



疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛、山羊、羊、豚などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。

～豚の症状～



写真:宮崎県提供

＜口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞



多数の水疱病変

接種3日目

接種4日目

写真:動物衛生研究部門提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。

1頭のみに着目せず、複数の豚で歩き方がおかしい、上記の症状が急速に広がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。

配合飼料タンクの安全点検を！

- ✓ 配合飼料タンクを支える支柱、上がるためのはしご等の腐食、不具合がないか
- ✓ 配合飼料タンクの傾きがないか
- ✓ はしごの昇降がスムーズに行えるよう、タンク周辺の除草等周辺環境を整備しているか



暑熱対策について



- ・遮光ネットやよしずによる日よけ
- ・屋根への断熱材設置、石灰乳塗布、スプリンクラーの設置
- ・換気扇、扇風機による送風、畜体への散水
- ・密飼いを避ける
- ・清潔で冷たい飲用水、良質で消化率の高い飼料、ビタミン・ミネラルの補給

